

新規就農先輩の軌跡 No.39

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：栗田 真弘 住所：淡路市尾崎 年齢：30歳</p>	<p>施設：鉄骨ハウス2600㎡ ビニールハウス2900㎡ 経営内容：ストック55a、輪菊30a 労働力：本人、妻、両親、祖母</p>  <p>採花間近の ストックを確認</p>
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>H14年3月 兵庫県立農業大学校卒業 H14年4月 就農 H14～20年 菊の品種選抜 H15年～ 輪菊の電照栽培開始 H17年7月 家族経営協定締結 H19年～ ストック開花調節技術導入 H21年 鉄骨ハウス（858㎡）増設 現在に至る</p>	<p>○良かった点 自分の理想的な花が栽培できたとき ○苦労した点 毎年、天候等で管理作業を工夫しないと いけない。だが、毎年同じかそれ以上 の花を栽培するのは難しく、苦労す る。</p>
農業をめざした動機	後輩へ贈る言葉
<ul style="list-style-type: none"> ・昔からものづくりが好きだった。 ・一番身近な職業だった。親の仕事をしている姿を見て、興味がわいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私の場合、後継者という立場ですが、同業者とのつながりができると心強いと思う。 ・困ったときに助言してもらえる農家さんを見つけられたらよいと思う。 ・新規では最初の設備投資等、資金的にきついと思うのでしっかりと準備を。 ・作目、就農場所、販売先等をしっかりと熟考する。